

印刷産業環境ビジョン2050 2030年中間目標

2026年3月24日

(一社)日本印刷産業連合会
環境政策プロジェクト



印刷産業環境ビジョン 2050

●印刷産業環境ビジョン2050

私たち印刷産業は、これまでの環境保全の取り組みに加えて、これからも持続可能な社会の実現に向けて以下の重点目標を掲げます。

1. 脱炭素社会の実現

事業活動に伴う温室効果ガスの排出量(Scope 1、Scope 2、Scope 3)を実質ゼロにすることを目指します。このために、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの導入を推進し、持続可能な生産プロセスや製品・サービスへの転換を図ります。

2. 循環経済の深化

事業活動を通じて循環経済の実現を目指します。資源のリサイクルや再利用を促進し、廃棄物の削減に努め、持続可能な資源利用を推進します。

3. 自然共生社会の推進

事業活動において生物多様性の保護と促進に取り組み、自然共生社会の実現を目指します。環境保全に配慮した製品開発や地域社会との協力を通じて、持続可能な未来を目指します。

これらの目標を実現するために、業界全体で環境への取り組みを強化し、新たに生じる社会・環境の変化にも迅速かつ前向きに対応、持続可能な未来の実現に向けて行動してまいります。

印刷産業環境ビジョン2030年中間目標

印刷産業環境ビジョン重点目標の達成に向けて、2030年の中間目標を以下のように定めます。

1. 脱炭素社会の実現

- ・Scope 1 + Scope 2: 2030年までに2013年度比で55%削減

(2040年には73%削減を目指し、2050年にはカーボンニュートラル(CN)の実現を目指します。)

- ・Scope 3: Scope 3の算定範囲を拡大し、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた活動を推進します。

2. 循環経済の深化

- ・産業廃棄物の最終処分量を0.15万トン以下に維持します。
- ・再資源化率を97.5%以上に維持します。

3. 自然共生社会の推進

- ・持続可能な原材料調達を推進します。

(具体的には、持続可能な森林資源の利用に寄与する用紙調達を進めます。)
社会・環境の変化にも迅速かつ前向きに対応、持続可能な未来の実現に向けて行動してまいります。